

豊島区上空を
飛行機が
低空で飛ぶ?!



参加費無料

羽田空港増便計画！ 学習会

2016年

日時

7月30日(土)

14:00～16:00 (13:45 開場)

会場

千早地域文化創造館 第一会議室
(豊島区千早2-35-12)

講師

秀島一生氏 (航空評論家)

日本航空国際線チーフパーサーとして30年乗務後、

1998年より航空評論家、旅行評論家として活動を開始、現在に至る。



千早地域文化創造館
アクセスはこちら

※子育て世代の方にもぜひご参加頂きたい、
学習会場では小さいお子さんが少し賑やかな場合もございますが、ご了承頂きます。

4月に入り、突然、豊島区上空を低空で飛行し、羽田空港へ着陸するルート案が国土交通省から発表されました。

南風の好天時午後3時から7時までの4時間、1時間に31機以上、2分弱に1機が飛行する案で、山手線のラッシュ時(1時間に22本)より多い数です。

現在、豊島区上空近くを飛んでいる飛行機は3000メートル以上の高さですが、今までよりずっと地上近くの約1000メートルの高さで飛行し、68～70デシベル(幹線道路なみ)の騒音が予想されます。

そもそも、なぜ、23区上空を飛ぶ必要があるのでしょうか?

飛行ルートには多くの小中学校や幼稚園、保育園など子どもたちの施設もあり、東京都火災危険度ランクが一番高い5を含める地域も飛行します。

国土交通省は、この案を夏には決定し、2020年からの実施を予定しています。

多くの皆さんに意見を出していただくために、学習会を企画しました。
ぜひご参加ください。

主催：としまの空を考える会

吉田 090-1663-4538
toshimanosora@gmail.com

2016